

**教育委員会の事務の管理及び  
執行状況に関する点検・評価報告書  
(平成20年度対象)**

**平成21年9月  
新潟市教育委員会**

－ 目 次 －

I	はじめに	1
II	教育委員会の活動状況について	2
1	教育委員会会議の開催状況	2
2	教育委員会会議以外の活動状況	3
3	平成20年度の主な取組と成果について	5
III	新潟市教育ビジョンの施策評価について	6
1	平成20年度施策評価一覧	6
2	主な施策・事業の評価状況	7
3	教育ビジョン推進委員からの主な意見・要望と教育委員会の対応	13

## I はじめに

平成19年6月に、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）が一部改正され、平成20年4月から、各教育委員会においては、毎年、教育に関する事務の管理及び執行状況について、点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

本市教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくために、地教行法第27条の規定に基づき、平成20年度の教育委員会の事務の管理及び執行状況について点検・評価を行いました。

本報告書は、その結果をまとめたものであり、「II 教育委員会の活動状況について」では、教育委員会会議の開催状況や、会議以外の教育委員の活動状況について記載しています。

また、「III 新潟市教育ビジョンの施策評価について」は、本市教育委員会の活動の根幹をなす「新潟市教育ビジョン」の、平成20年度の施策の実施状況、進捗状況等について、有識者などで構成される「新潟市教育ビジョン推進委員会」の知見を活用しながら、点検・評価を実施した内容となっています。

### 【参考】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十七条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## Ⅱ 教育委員会の活動状況について

### 1 教育委員会会議の開催状況

#### ○新潟市教育委員会定例会・臨時会

平成 20 年 4 月定例会	両川小学校の通学区域，第 28 期社会教育委員の委嘱	他
平成 20 年 5 月定例会	第 19 期新潟市文化財保護審議会委員の委嘱	他
平成 20 年 6 月定例会	6 月議会議案，新潟市立学校適正配置審議会委員の委嘱	他
平成 20 年 7 月定例会	教科用図書の採択，小中一貫教育検討会中間報告	他
平成 20 年 8 月定例会	人事案件，教育フォーラム	他
平成 20 年 9 月定例会	規則の制定及び一部改正，一貫教育・一貫校検討委員会報告	他
平成 20 年 10 月定例会	規則の一部改正，教育委員会の事務執行にかかる点検・評価	他
平成 20 年 10 月臨時会	人事案件	
平成 20 年 11 月定例会	12 月議会議案，多忙化解消プロジェクトチームの設置	他
平成 20 年 12 月定例会	戦略プランの中間とりまとめ，成人の日のつどい	他
平成 21 年 1 月定例会	規則の一部改正，平成 21 年度全国学力・学習状況調査	他
平成 21 年 2 月定例会	2 月議会議案，教育委員会事務の補助執行，組織改正	他
平成 21 年 3 月定例会	規則の制定及び一部改正，事務局及び機関の長の人事	他
平成 21 年 3 月臨時会	教育長の選任	

#### ○教育委員会会議の公開等に関すること

- ・会議について 原則公開（人事案件等非公開の場合あり）
- ・開催案内について ホームページ・市報にいがた等に掲載
- ・会議録について 会議終了後，会議速報をホームページに掲載  
会議録作成後，速やかに，ホームページに掲載及び市政情報案内室において公開
- ・傍聴の平均人数 2.92 人

- ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律等に基づき，新潟市では，毎月，教育委員会定例会，及び必要に応じて臨時会を開催しており，平成 20 年度は 14 回の会議を開催しました。（定例会 12 回，臨時会 2 回）
- ・教育委員会定例会の案件となる前に，事前に協議会などを開催し，案件について十分な検討を行っています。また，教育委員会会議の資料については，事前に委員に配付され，各教育委員が十分内容を把握した上で定例会に出席しており，毎回活発な意見が交わられています。
- ・また，会議については，原則公開で行われています。（人事案件等非公開の場合あり）

## 2 教育委員会会議以外の活動状況

### ○市内視察

平成 20 年 6 月 入舟小学校

(地域と学校パートナーシップ事業参観, ふれあいスクール参観)

平成 20 年 10 月 西幼稚園

(西幼稚園教育ビジョンの説明, 保育参観, 懇談会, 全園児による踊り)

平成 20 年 11 月 鏡淵小学校

(オンリーワンスクール授業, 懇談会, 地域住民と生徒のふれあい)

平成 21 年 2 月 新潟小学校, 寄居中学校 (マイスター授業参観)

- ・ 1 年間に 4 度程度の市内視察を行っており, 教育現場の状況を把握するようにしています。また, 現地では必ず, 意見交換を行うようにしており, 情報交換に務めています。

### ○行政視察

平成 20 年 10 月 東京都

- ・ 文京区立誠之小学校 (スーパーティーチャーの授業参観, 担当教職員と当市教育委員との懇談)
- ・ 杉並区立和田中学校 (民間校長制度を採用してから 5 年が経過した現状について)
- ・ 東京都教職員研修センター (東京都公立学校の「授業力」向上に関する取り組みについて)

- ・ 1 年間に 1 度, 一泊二日で, 県外に行政視察を行い, 先進の教育行政を参考にして新潟市の教育行政に役立てています。
- ・ 平成 20 年度は, 東京都のスーパーティーチャーの授業参観及び, 研修制度の視察, 民間校長のパイオニアである, 杉並区立和田中学校長に現状等を伺いました。

### ○懇談会・意見交換会

平成 20 年 9 月 新潟県教育委員・市町村教育委員意見交換会

(教職員の多忙化・多忙感について)

平成 20 年 10 月 民間校長との懇談会

(校長の採用から現在までを振り返り, 現場での奮闘ぶりや目指す学校像について)

平成 21 年 1 月 市長・副市長と教育委員の懇談会

(新潟政令市「'09-10 戦略プラン」について)

- ・ 新潟県の教育委員及び他市教育委員と「教職員の多忙化・多忙感」についての意見交換, 新潟市の民間校長である濁川中学校長・豊照小学校長との懇談会, 新潟政令市「'09-10 戦略プラン」について市長・副市長と懇談を行いました。
- ・ 積極的に, 教育行政について, 各分野との意見交換を行っています。

### ○指定都市協議会・他団体関係

- 平成 20 年 5 月 関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会・研修会
- 平成 20 年 5 月 新潟県市町村教育委員会連合会 理事会・定期総会
- 平成 20 年 5 月 関東地区都市教育長協議会理事会，総会並び分科会
- 平成 20 年 5 月 新潟県都市教育長協議会 春季定期総会
- 平成 20 年 6 月 第 1 回 指定都市教育委員・教育長協議会
- 平成 20 年 9 月 指定都市教育委員・教育長協議会（臨時会）
- 平成 20 年 10 月 新潟県都市教育長協議会 秋季定期総会
- 平成 21 年 1 月 第 2 回 指定都市教育委員・教育長協議会

・関東甲信越静市町村教育委員会連合会が主催する，研修会へ教育委員が参加している  
他，他連合会・協議会等へ積極的に参加し，他政令市や市町村の教育委員とも積極的に  
情報交換をおこなっています。

### ○マイスター養成塾

- 平成 20 年 5 月 第 1 回認定審査委員会
- 平成 20 年 11 月 修了者研修認定授業
- 平成 20 年 12 月 第 2 回認定審査委員会
- 平成 21 年 1 月 養成塾研修プログラム認定授業
- 平成 21 年 2 月 班別事前検討会
- 平成 21 年 3 月 第 3 回認定審査委員会
- 平成 21 年 3 月 修了式

### ○学校周年事業への教育委員の出席

- 平成 20 年 5 月 舟栄中学校創立 60 周年・新校舎竣工記念式典
- 平成 21 年 6 月 大淵小学校竣工記念式典
- 平成 20 年 11 月 明鏡高等学校創立 60 周年記念式典
- 平成 20 年 11 月 南中野山小学校創立 30 周年記念式典
- 平成 20 年 11 月 庄瀬小学校創立 100 周年記念式典
- 平成 20 年 11 月 入舟小学校創立 90 周年記念式典
- 平成 20 年 11 月 栄小学校創立 80 周年記念式典

### ○卒業式への教育委員の出席

- 平成 21 年 3 月 万代高等学校・高志高等学校・明鏡高等学校・養護学校

### ○その他の出席

成人の日のつどい，小・中学校教員採用選考検査確認，各体育大会，学校長・園長研修  
会，教育フォーラム 等

### 3 平成 20 年度の主な取組と成果

平成 20 年度の教育委員会の主な取組と成果として、次のことがあげられます。

#### ① 中高一貫校（市立高志中等教育学校）の開校準備

全国で初めての市立の中高一貫校の開校に向けて、教育課程の編成や入学者選抜などの準備を行った。選考検査で 408 人、3.4 倍の出願があり、平成 21 年 4 月に市立高志中等教育学校を開校し、120 名が入学した。

#### ② 任免権を活かした教職員の採用，登用

優秀で多様な能力をもった教職員を確保・育成していくために、政令市教育委員会として市立小・中学校及び幼稚園の教員の採用，管理職の登用に関する選考検査を実施し，教員を 57 名採用し，管理職を 49 名登用した。

選考検査の第 2 次検査（面接）においては，一層の公正を期するために民間の面接官を導入するとともに，事務局作成の最終合格者案を教育委員が点検し，適正な結果となっているかを確認した。

#### ③ 地域と学校パートナーシップ事業の拡大

学・社・民の融合による教育を推進する取組として，学校に地域教育コーディネーターを配置し，学校を中心とした地域コミュニティや地域の教育力の醸成を図る「地域と学校パートナーシップ事業」を 8 校から 40 校に拡大して実施した。事業に伴う学校支援ボランティアの活動機会は延べ 4,241 回，25,977 人となった。

#### ④ オンリーワンスクールへの支援

オンリーワンスクールの支援として，11 校のモデル校における各学校の特色と創意ある教育活動の取組を推進し，教育フォーラムで小・中学校，市民に PR した。

#### ⑤ マイスター養成塾等スキルアップ研修の充実

総合教育センターでは，市民に信頼される教職員の育成を目指し，双方向型研修及び教職員のライフステージや教育課題に応じた研修支援の充実を推進した。

特に，「マイスター養成塾」では，平成 20 年度までの修了者が 32 名となり，そのうちマイスター認定者が 13 名となった。修了者全員が高い授業力を保有する実績をあげ，新潟市の教員全体の教師力向上に大きく寄与した。

### III 新潟市教育ビジョンの施策評価について

新潟市教育ビジョンの平成20年度の実施状況について、有識者の知見を活用した評価を以下に示します。

#### 1 平成20年度施策評価一覧

全施策の平均 3.22 (学びの扉の平均3.11)

評価分布 (評価対象119指標)

・指標を上回って達成 4…47.1% ・指標どおり達成 3…26.9% ・指標を少し下回った 2…19.3% ・指標を大きく下回った 1…6.7% ・未着手 0…0%

基本施策 (14施策)	施策 (63施策)		H20施策評価 (前期進捗)	
	網掛…5つの「学びの扉」に該当する施策	☆…説明に取り上げる施策		
1 確かな学力の向上	1-1	学ぶ目的意識をもち、将来の生き方を考える教育の推進 ☆	3.7	3.3
	1-2	自ら学び自ら考える教育の推進	3	
	1-3	基礎・基本を身に付ける教育の推進 ☆	2.8	
	1-4	学習習慣の定着と読書活動の推進 ☆	3.5	
2 豊かな心と健やかな体の育成	2-1	いのちの教育・心の教育の推進	3	3
	2-2	体験活動・ボランティア活動の支援 ☆	2.5	
	2-3	文化・芸術活動体験の推進	4	
	2-4	いじめ・不登校への対応 ☆	3	
	2-5	非行等への対応	4	
	2-6	体力づくりの推進 ☆	2	
	2-7	健康づくりの推進	3.5	
	2-8	食育の推進 ☆	3.2	
	2-9	青少年の居場所づくり	3.5	
	2-10	青少年の健全育成の推進	1	
3 世界と共に生きる力の育成	3-1	地域学習の充実	4	3.4
	3-2	国際理解教育の充実	1	
	3-3	コミュニケーション能力の育成	4	
	3-4	情報教育の充実	2	
	3-5	環境教育の充実	3	
	3-6	海外帰国子女教育・外国人児童生徒への教育の推進	4	
4 自立と社会参加を目指した特別支援教育の推進	4-1	自立を目指す特別支援教育の推進	3	2.8
	4-2	特別支援教育のサポート体制の推進 ☆	3.3	
	4-3	市立養護学校のセンター的機能の充実	4	
	4-4	ノーマライゼーションの推進	1	
5 校種間・学校間連携を活かした特色ある学校・園づくり	5-1	校種間連携の推進 ☆	3	3.3
	5-2	学校間連携の推進	4	
	5-3	市立高等学校の改革	3	
	5-4	幼児教育の充実	3	
6 人権を守り共に支え合う社会の推進	6-1	人権教育・同和教育の推進	4	2.5
	6-2	交流・体験活動の推進	1	
7 家庭教育の充実と子育て支援	7-1	家庭教育充実の支援	3.5	3.8
	7-2	子育て支援の充実	4	
8 生涯を通じて学び育つ学習機会の充実	8-1	主体的な学習を支えるシステムづくり	2.5	3.1
	8-2	学び育つ各世代への支援 ☆	2.8	
	8-3	地域における生涯学習活動への支援	4	
9 まちづくりに生かす生涯スポーツの推進	9-1	生涯にわたるスポーツ活動の推進 ☆	4	3.6
	9-2	競技力の向上	2.5	
	9-3	みる機会・交流機会の拡大	4	
	9-4	住民主体のスポーツを支える組織の構築	4	
10 学・社・民の融合による人づくり、地域づくり、学校づくり	10-1	地域と共に歩む学校づくりの推進 ☆	3.3	3.5
	10-2	広報広聴活動の推進	4	
	10-3	学校・地域・NPO等の協働の推進	3.3	
	10-4	高等教育機関及び企業等との連携促進	2	
	10-5	子ども・保護者・地域住民の学校運営への参画	4	
	10-6	市民の生涯学習施設運営への参画	4	
	10-7	区単位での教育支援体制の整備	4	
11 子どもの安全確保と学校・園の安全管理	11-1	保護者や地域と連携した安全対策の推進 ☆	2.5	2.9
	11-2	安全教育の充実	3	
	11-3	安全な学校施設 ☆	3.3	
12 学校教育・生涯学習環境の整備	12-1	効果的な指導を支援する施設設備の整備	3	3.3
	12-2	コミュニティの拠点としての学校整備	3	
	12-3	学校施設の整備	3	
	12-4	公民館・図書館を核としたネットワークづくり	4	
13 市民に信頼される教育関係職員の育成	13-1	教育関係職員の研修プログラムの充実 ☆	3.8	2.5
	13-2	教職員への支援体制の充実 ☆	2	
	13-3	信頼される教職員の採用・登用 ☆	2	
	13-4	教育関係職員の人事管理の適正化	2	
14 ニーズと課題に応える教育行政の推進	14-1	教育情報の収集と発信	3.5	3.1
	14-2	学校を支援する新たなシステムづくり	3.3	
	14-3	多様な教育の機会・支援体制の整備	2.5	
	14-4	学校の適正配置	3	
	14-5	効率的な執行体制の整備		
	14-6	教育施策に対する評価の充実	3	

## 2 主な施策・事業の評価状況

「学びの扉」に該当する施策に加え、そのほかに重点的な取組を進めてきた施策を取り上げています。

### 1 確かな学力の向上

1-(1) 学ぶ目的意識をもち、  
将来の生き方を考える教育の推進

主な事業 ・キャリア教育推進事業  
・市立高校生の進学等支援事業

H20施策評価 前期進捗
3.7

#### ●施策の目標

指標 1	キャリア教育の全体計画を作り、取り組んでいる学校数(校)					H20評価
	H18	H19	H20	H21	前期進捗	
指標目標	18			137		4
進捗状況		151	160			
指標 2	市立高校(万代高校)1年次の大学、短大、など進学希望に対する卒業時の達成率(%)					H20評価
	H17(現状)	H18	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	65.0			74.0		4
進捗状況		78.8	79.2	75.4		
指標 3	就職希望者の就職達成率(%)					H20評価
	H17(現状)	H18	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	70.0			80.0		3
進捗状況		89.4	84.9	77.6		

キャリア教育の重要性が周知徹底され、目標値を上回った。

・キャリア教育の全体計画を作り、取り組んでいる学校が160校と、すでにH21の目標値を上回っている。小学校38校の教諭を対象にキャリア教育コーディネーター養成講座(3回)、及び中学校29校の教諭を対象にカウンセリング養成講座を実施した。

1-(3) 基礎・基本を身に付ける教育の推進

主な事業 ・学力実態調査  
・学生ボランティア派遣事業  
・理科・数学学力向上プロジェクト

H20施策評価 前期進捗
2.8

#### ●施策の目標

指標 1-i	授業がわかると感じる子どもの割合(%) (6年国語)					H20評価
	H18	H19	H20	H21	前期進捗	
指標目標	90.0			90.0		4
進捗状況		86.0	91.0			
指標 1-ii	授業がわかると感じる子どもの割合(%) (中3数学)					H20評価
	H18	H19	H20	H21	前期進捗	
指標目標	63.0			80.0		2
進捗状況		70.0	71.0			
指標 2-i	学力偏差値の向上 (中2国語)					H20評価
	H18	H19	H20	H21	前期進捗	
指標目標	52.4			53.0		3
進捗状況		52.8	52.9			
指標 2-ii	学力偏差値の向上 (中2数学)					H20評価
	H18	H19	H20	H21	前期進捗	
指標目標	49.6			51.5		2
進捗状況		50.4	49.5			

指標としている中学国語は目標値を上回ったものの、中学数学は目標値を下回った。

・新潟・青陵両大学の学生144名が市内小学校72校で学習支援ボランティアにあたり、指導補助、個別指導、配慮を必要とする児童生徒への対応に取り組んでいる。

・各区の学番1の中学校区の学校(小5・中2)を抽出し、思考力・判断力・表現力を評価する学力テストを実施した結果、全教科・全学年で全国平均を上回った。

1-(4) 学習習慣の定着と読書活動の推進

主な事業 ・学習習慣定着事業  
・読書活動推進事業  
・学校図書館支援センター設置事業

H20施策評価 前期進捗
3.5

#### ●施策の目標

指標 1	家庭学習を2時間以上する中学3年生の割合(%)					H20評価
	H17(現状)	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標		30.0 (11月調査)			33.0	4
進捗状況			40.3	43.3		
指標 2	家庭学習を1時間以上する小学6年生の割合(%)					H20評価
	H17(現状)	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	59.3 (4月調査)	48.0 (4月調査)			60.5	4
進捗状況			71.5 (11月調査)	76.9		
指標 3	児童が1年間に読む本の冊数(小5・6年)(冊)					H20評価
	H17(現状)	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	30.0 (4月調査)	31.2 (4月調査)			34.0	4
進捗状況			33.6	38.4 (11月調査)		
指標 4	公共図書館で実施する子ども・親子対象事業の参加者数(人)					H20評価
		H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標		19,500			23,000	2
進捗状況			15,200	17,300		

家庭学習時間と読書量がさらに上昇し、H21の目標値を上回った。

・家庭学習の啓発パンフレット「家庭学習のススメ」を作成し、各学校での活用を図っている。

・中央図書館「ほんぼーと」1周年記念として、「ふれあい子どもフェスティバル」等の事業を開催した。

・西川図書館に学校図書館支援センターを設置し、区内の学校図書館の実情把握、学校司書への研修及び業務マニュアルの検討、地域開放等の取組を進めた。H21は豊栄図書館に学校図書館支援センターを設置する。

## 2 豊かな心と健やかな体の育成

### 2-(2) 体験活動・ボランティア活動の支援

主な事業 ・ボランティア体験啓発事業  
 ・自然体験学習推進事業  
 ・子ども体験活動・ボランティア活動推進事業

H20施策評価 前期進捗
2.5

#### ●施策の目標

指標 1	自然体験学習実施学級数(学級)				H20評価
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	210	210	220	220	3
進捗状況		228	219		
指標 2	ジュニアリーダー登録数(人)				H20評価
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	10	20	50	50	2
進捗状況		12	31		

野外体験活動やものづくりなどの生活体験活動事業を実施し、子どもたちの健全育成を図ったが、目標を下回った。

・ジュニアリーダーは徐々に増えているものの、登録に至らない子どももおり、目標値には達しなかった。

・H21もボランティア活動の体験を基にした講演会を開催する。

### 2-(4) いじめ・不登校への対応

主な事業 ・教育相談ネットワーク事業  
 ・カウンセラー等活用事業  
 ・不登校未然防止プロジェクト

H20施策評価 前期進捗
3.0

#### ●施策の目標

指標 1	いじめ発生人数の減少(人)					H20評価
	H17(現状)	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	118	312	減少			4
進捗状況			574	410 ※速報値		
指標 2	30日以上欠席した児童生徒の数(人)					H20評価
	H17(現状)	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	787	784	減少			2
進捗状況			819	849		

いじめ発生人数は減少の見込みであるが、30日以上欠席した児童生徒数は増加した。

・いじめの発生人数は、文科省のいじめの定義が変わったことによりH18、H19と著しく増加したが、H20は減少の見込みである。

※ H18より「いじめの発生人数」が「いじめの認知件数」に修正された。指標1のH20の数値は文科省からの公表がまだ行われていないため、未確定値である。

### 2-(6) 体力づくりの推進

主な事業 ・「パワフル！新・にいがたっ子」推進事業  
 ・体力低下・運動嫌い防止教育の推進  
 ・中学校部活動エキスパート・サポーター活用事業

H20施策評価 前期進捗
2.0

#### ●施策の目標

指標 1-i	小学校 体力テスト向上率(%) (体力テスト各項目で前年度平均を上回った項目の割合)					H20評価
	H17(現状)	H18	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	57.0	70.0			70.0	2
進捗状況		77.1	89.6	57.3		
指標 1-ii	中学校 体力テスト向上率(%) (体力テスト各項目で前年度平均を上回った項目の割合)					H20評価
	H17(現状)	H18	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	72.0	70.0			70.0	2
進捗状況		100.0	85.2	61.1		

指標は下回ったが、児童生徒の体力は高い水準で推移している。

・体力テストの各項目を全国平均と比較すると、小学校で72.9%、中学校で66.7%の項目で上回っている。

※ 設定した指標目標が「前年度平均を上回った項目の割合」としているため、高水準を維持しても評価に反映されない。

## 2-(8) 食育の推進

主な事業 ・「食に関する指導」推進事業  
 ・学校と家庭との連携・協力事業 ・学校給食の充実事業  
 ・中学校スクールランチ推進事業 ・家庭教育振興事業

H20施策評価 前期進捗
3.2

### ●施策の目標

指標	H20評価			
指標 1	児童生徒の朝食欠食率(%) (朝食を全く・ほとんど食べない割合)			
	H18(現状)	H19	H20	H21
指標目標	4.2	3.5	3.0	2.0
進捗状況		3.0	3.9	
指標 2	給食の残食量の減少(%)			
	H18(現状)	H19	H20	H21
指標目標	7.0	6.0	5.0	5.0
進捗状況		6.2	5.5	
指標 3	地場農林水産物の使用拡大(食材数ベース)(%)			
	H18(現状)	H19	H20	H21
指標目標	10.5	11.0	11.5	12.0
進捗状況		11.3	14.5	
指標 4	肥満傾向の児童生徒の割合(%)			
	H18(現状)	H19	H20	H21
指標目標	9.3			9.0
進捗状況		8.7	8.3	
指標 5	米飯給食普及率の向上(週当たりの米飯給食回数)(回)			
	H18(現状)	H19	H20	H21
指標目標	3.57	4.00	5.00	5.00
進捗状況		4.00	5.00	
指標 6	完全米飯給食移行校数(校)			
	H18(現状)	H19	H20	H21
指標目標	0	0	31	156
進捗状況		0	80	

□「児童生徒の朝食欠食率や給食の残食量は目標を下回ったが、地場産食材の使用や米飯給食への移行が進んだ。

・民間の指導者15名を登録し、スクールランチ校9校を対象に派遣指導を行うことにより、児童生徒の食事や栄養に対する意識を高めた。

・大学生と中学生が協働で実践する「食育ピア・エデュケーション」では、試食会や寸劇などの取組を行い、生徒への食育意識の啓発を図った。

・H21より全市域での完全米飯給食を開始し、学校給食におけるご飯を中心とした日本型の食事を推進する。

※ 指標1, 2が目標値に達しなかった原因として、H20調査の対象(数)が変わるなど、調査方法の変更があったことが考えられる。

## 4 自立と社会参加を目指した特別支援教育の推進

### 4-(2) 特別支援教育のサポート体制の推進

主な事業 ・特別支援教育サポートネットワーク事業  
 ・特別支援教育コーディネーター養成研修  
 ・特別支援教育ボランティアシステム

H20施策評価 前期進捗
3.3

### ●施策の目標

指標	H20評価			
指標 1	特別支援教育に関する相談件数(件)			
	H18(現状)	H19	H20	H21
指標目標	100			150
進捗状況		189	357	
指標 2	特別支援教育コーディネーター研修修了者数(人)※			
	H18(現状)	H19	H20	H21
指標目標	0			150
進捗状況		(172)	60	
指標 3	特別支援教育ボランティア登録者数(人)			
	H18(現状)	H19	H20	H21
指標目標	0	50		100
進捗状況		34	82	

□「特別支援教育に関する相談件数」や「ボランティア登録数」が大幅に伸びた。

・特別支援教育ボランティアの登録者82人の内78人が27学校・園で活動した。

・H21は、教育関係者、関係機関、一般市民を対象に、特別支援教育にかかわる理解促進講座を開催する。

※指標2について  
 H19の( )は受講者数。3年以上で累計8講座以上の受講により修了するシステムで、H20に初めて修了者60人が出た。

## 5 校種間・学校間連携を活かした特色ある学校・園づくりの推進

### 5-1 校種間連携の推進

主な事業 ・中学校・高等学校教員交流  
・一貫教育・一貫校の推進  
・幼・小・中連携事業

H20施策評価 前期進捗
3.0

#### ●施策の目標

指標 1	中学校・高等学校教員交流人数(人)				H20評価
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	2			4	3
進捗状況		1	2		
指標 2	小中一貫校の整備着手				H20評価
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標				着手	/
進捗状況					
指標 3	中高一貫校の開設				H20評価
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	検討委員会により提言をまとめる	基本計画策定	開校準備	中高一貫校開校	3
進捗状況	検討委員会により提言をまとめた	基本計画策定			
指標 4	幼小中一貫教育推進モデル中学校区数(校区)				H20評価
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	2	2	5	8	3
進捗状況		2	5		

H21年4月に「新潟市立高志中等教育学校」を開校した。

・「高志中等教育学校」の開設に向けた準備を計画通りに進めた。選考検査で408人、3.4倍の出願があり、H21年4月に120名が入学した。

・小中一貫校については検討委員会を設置し、検討を進めている。

・小中連携教育実践研究事業のモデル3中学校区で、9年間の一貫指導カリキュラム作成に向けた研究に取り組んだ。

## 8 生涯を通じて学び育つ学習機会の充実

### 8-2 学び育つ各世代への支援

主な事業 ・ビジネス支援講座 ・にいがた市民大学開設事業  
・アクティブシニア支援事業 ・現代的課題を学ぶ公民館事業  
・学習成果を発表する場の提供 ・子どもの読書環境の整備  
・子どもが読書に親しむ機会の充実 ・ビジネス情報提供事業

H20施策評価 前期進捗
2.8

#### ●施策の目標

指標 1	にいがた市民大学受講者数(人)				H20評価
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	400	550		550	2
進捗状況		567	508		
指標 2	児童書の貸出数(冊)				H20評価
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	900,000			1,005,000	4
進捗状況		983,000	1,044,000		
指標 3	公共図書館で実施する子ども・親子対象事業の参加者数(人)				H20評価
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	19,500			23,000	2
進捗状況		15,200	17,300		
指標 4	ビジネス支援調査相談件数(件)				H20評価
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	0			300	3
進捗状況		54	210		

「児童書の貸出数」と「ビジネス支援調査相談件数」が大幅に増加した。

・「市民大学の受講者数」は、H19の8講座から1講座減になったことなどから指標を下回った。

・「児童書の貸出数」と「ビジネス支援調査相談件数」は、指標を大きく上回った。H19より開始したビジネス情報提供事業では、引き続き企業・経営相談会を開催し、ビジネス支援を実施する。

## 9 まちづくりに生かす生涯スポーツの推進

### 9-1 生涯にわたるスポーツ活動の推進

主な事業 ・新潟マラソン大会の開催 ・スポーツ普及推進事業  
・スポーツ指導者育成事業 ・体育施設整備事業  
・中地区体育施設整備事業  
・「週1回スポーツに親しむ運動」推進事業  
・「(仮称)スポーツ振興会マネージャー」育成事業

H20施策評価 前期進捗
4.0

#### ●施策の目標

指標 1	週1回以上スポーツをする人の割合(%)				H20評価
	H15(現状)	H18	H19	H21	前期進捗
指標目標	15.9	15.9		33.0	4
進捗状況			19.5	36.1	

週1回以上スポーツをする人の割合が指標を大きく上回り、すでにH21の目標値を達成している。

・新潟マラソンでは、フルマラソンの制限時間を5時間とし、参加者のニーズから4種目を増設した結果、参加申込が過去最高の6,353人に上った。今後も、地域のスポーツ振興会の中心となるマネージャーの育成、資質向上に取り組む。

## 10 学・社・民の融合による人づくり,地域づくり,学校づくり

### 10-1 地域と共に歩む学校づくりの推進

主な事業 ・学校評議員制度の推進  
 ・地域と学校パートナーシップ事業  
 ・ふれあいスクール事業 ・学校開放事業

H20施策評価 前期進捗
3.3

#### ●施策の目標

指標 1	地域教育コーディネーターの配置校数(校)				H20評価
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	0	8	11	19	4
進捗状況		8	40		
指標 2	ふれあいスクール事業実施校数(校)				H20評価
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	22			40	4
進捗状況		34	39		
指標 3	ふれあいスクール事業実施校数(公民館出前型)(校)				H20評価
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	3	8	16	24	2
進捗状況		4	8		

地域教育コーディネーターをH19のパイロット校(各区・8校)に加え、H20は40校に拡大配置した。

・H21は、地域と学校パートナーシップ事業の実施校を64か校にさらに拡大し、開かれた学校づくりを推進する。

・ふれあいスクール公民館出前型は8校の実施に留まった。引き続き未実施の区の学校に協力を求めるなどし、健全育成を図るための環境整備を地域ぐるみで進める。

## 11 子どもの安全確保と学校・園の安全管理

### 11-1 保護者や地域と連携した安全対策の推進

主な事業 ・青少年育成団体の活動支援  
 ・セーフティ・スタッフ事業  
 ・不審者メール配信事業

H20施策評価 前期進捗
2.5

#### ●施策の目標

指標 1	セーフティ・スタッフ登録者数(人)				H20評価
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	4,500			6,000	1
進捗状況		4,700	4,786		
指標 2	不審者メール配信登録者数(人)				H20評価
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	10,800			12,000	4
進捗状況		11,834	19,263		

セーフティ・スタッフの登録者数は増加しているが、指標は下回った。

・保護者や地域との連携や、警察など関係機関との連携の強化、警察OBによる学校への巡回と指導を行うスクールガードリーダー事業の導入により、児童生徒の登下校の安全を確保することができた。

### 11-3 安全な学校施設

主な事業 ・指定避難所(屋内体育館)耐震補強事業  
 ・非常通報装置設置事業 ・市立学校AED設置事業  
 ・安全で快適な学校整備事業

H20施策評価 前期進捗
3.3

#### ●施策の目標

指標 1	耐震診断実施率(%)				H20評価
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	20.7	100.0	—	—	完了
進捗状況		100.0	—	—	
指標 2	屋内体育館の耐震補強工事達成率(%)				H20評価
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	5.6	19.7	33.8	47.9	4
進捗状況		19.7	46.5		
指標 3	AED 設置校数(校)				H20評価
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	4	62	119	176	3
進捗状況		62	119		
指標 4	大規模改造計画達成率(%)				H20評価
	H17	H18	H19	H20	前期進捗
指標目標		11.1	19.9	27.9	3
進捗状況			19.9	27.3	

全事業とも予定通り進捗している。

・屋内体育館及び校舎の耐震補強工事を引き続き行うとともに、上半期に実施する耐震2次診断結果を基に、優先度・緊急度の高いところから耐震補強設計を行う。

・自動体外式除細動器(AED)は、全中学校に加え、小学校114校のうち57校に設置を完了した。併せて区単位で学校代表者に対して使用法などの研修を実施した。H21は残りの小学校57校及び中等教育学校1校へ設置する。

### 13 市民に信頼される教育関係職員の育成

#### 13-1(1) 教育関係職員の研修プログラムの充実

主な事業 ・マイスター養成塾等スキルアップ研修の推進  
・学社民融合研修の推進

H20施策評価  
前期進捗

3.8

##### ●施策の目標

指標 1	研修受講者の満足度(%) (充実した研修だったと答えた受講者の割合)				H20評価
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	65.0	70.0	75.0	80.0	4
進捗状況		71.0	80.0		
指標 2	マイスター認定人数(累積)(人)				H20評価
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	0	10	15	20	3
進捗状況		6	13		
指標 3-i	全教師が研究授業をする学校の割合(%) 小学校				H20評価
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	88.0			100.0	4
進捗状況		100.0	100.0		
指標 3-ii	全教師が研究授業をする学校の割合(%) 中学校				H20評価
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	57.0			70.0	4
進捗状況		81.0	84.0		

教職員の研修体制がより充実したも  
のになっている。

・マイスター養成塾の修了者は2年間で32名となり、そのうちマイスター認定者が13名となった。  
修了者全員が高い授業力を保有する実績をあげ、新潟市の教員全体の教師力向上に大きく寄与している。

・「全教師が研究授業をする学校の割合」は、小・中学校ともに目標値に達している。

#### 13-1(2) 教職員への支援体制の充実

主な事業 ・指導力不足教職員等の研修  
・教職員ヘルスケアシステム

H20施策評価  
前期進捗

2.0

##### ●施策の目標

指標 1	学習指導などに支援を要する教職員の減少(人)				H20評価	
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗	
指標目標	41	減少			3	
進捗状況		37	28			
指標 2	教職員の病気休暇・休職者の減少(人)				H20評価	
	H17(現状)	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	91	95	減少			1
進捗状況			110	112		

支援を要する教職員は減少したが、  
病気休暇・休職者は増加した。

・支援を要する教職員のそれぞれの実態、状況に合わせた研修計画を立案し、研修を実施した。また、教師力等の向上のために予防的研修の充実を図った。

・病気休暇・休職者の減少に向けて、メンタルヘルス研修、メールによる相談事業や面接相談事業の準備を行った。今後は精神性疾患による休職者の円滑な職場復帰を図るよう努める。

#### 13-1(3) 信頼される教職員の採用・登用

主な事業 ・教員採用選考検査  
・管理職選考検査

H20施策評価  
前期進捗

2.0

##### ●施策の目標

指標 1	女性管理職(教頭)登用率(%) ※H18(現状):市立学校・園の女性管理職比率				H20評価
	H18(現状)	H19	H20	H21	前期進捗
指標目標	(10.7)	—	35.0		2
進捗状況		27.3	24.0		

女性管理職(教頭)の登用率は、  
24%に留まった。

・女性管理職の登用率は女性受検者の比率が少ないなどの理由から指標を下回った。マイスター養成塾の修了者を選考(教頭等)の対象者とするなど、市独自の受検資格を設けるなどして女性受検者の増加を図る。

H20.4.1の  
登用率 H21.4.1の  
登用率

### 3 教育ビジョン推進委員からの主な意見・要望と教育委員会の対応

#### 施策1ー(3) 「基礎・基本を身に付ける教育の推進」

学習支援ボランティアは、希望する学校のすべてに派遣できるのか。学校の方針によるが、ボランティアの活用の仕方によって学力の向上に結び付けることができる。学生以外の一般のボランティアの登録についても積極的に進めてほしい。

→ 希望があっても地理的な条件などにより、学生ボランティアの行き手がない学校もあるため、希望した全部の学校に配置できていない。新潟大学や青陵大学以外の大学や地域にも呼びかけ、一般のボランティアも含めて登録を進め、希望する学校にできるだけ配置できるよう努力する。ボランティアの活用の仕方については、十分に検討していきたい。

#### 施策2ー(4) 「いじめ・不登校への対応」

「中1ギャップの解消に、小中連携支援シートの活用が有効」とあるが、どれくらいの学校で、どのように活用されているか。中学校担任との連携をスムーズに行い、シート等の情報が新年度に生かされるものでなければならない。

→ 市内の全学校で同じシートを使い、小中学校の情報交換会のときに、そのシートを基に情報交換をしている。中学校としては、学年で動く体制をとることで、確実に引き継ぐようにしている。大学の教員等の専門家からの指導・助言をほかの学校に広めたり、情報を共有したりしていきたい。

#### 施策10ー(1) 「地域と共に歩む学校づくりの推進」

地域教育コーディネーターの人材不足により、コーディネーターを配置してから研修してもらうという学校も出ているようだ。事業の拡大はよいが、役割を果たせるコーディネーターを確保できるのか、基本的な見通しがなく学校に配置してよいのか。連携はしているがコラボレーション（協働）になっていない実践もある。学校が何をしてもらいたいのかなどの計画をある程度はつきりさせることが必要である。

→ 基本的には、学校長の推薦を受けて地域教育コーディネーターを委嘱している。コーディネーターの基本的な役割は、学校の要望に応じて仕事を進めることである。実際に1人でやっている学校もあるし、4人のコーディネーターが順番に勤務する学校もある。各小学校区にお住まいの方で、学校をよく知る、地域をよく知る人を委嘱している。コーディネーター研修で、資質の向上と相互の情報交換に努めている。

#### 施策13ー(1) 「教育関係職員の研修プログラムの充実」

「全教師が研究授業をする学校の割合」を見ると、小・中の差が歴然としている。授業力を付けるために、中学校も100%を目指すべきである。教師ががんばる姿勢を見せる、やる気を出すことが大事である。

→ 中学校は、学級数と教員数が多く、時間的なことが理由の一つとしてあげられる。また、教科担任制のため、教科の専門性について協議しにくい面があり、授業についての協議がなかなか深まらないという点がネックになっていると考えられる。しかし、校内研修において校長がリーダーシップをとる中で、中学校でも可能であると考えており、各学校を指導していきたい。

### 施策13-（2） 「教職員への支援体制の充実」

「学習指導などに支援を要する教職員の減少」は、支援だけで解決可能な問題か。研修が改善にどう結び付いているかが市民からは見えない。

→ 新潟市でも総合教育センターで1年間の研修を義務付ける制度（指導改善研修）はできているが、H20年度は指導力不足教員の審査会にかかる対象者はなかった。指導改善研修に入る前の段階で予防的研修の充実を図るなど、教職員への指導を行っている。

「教職員の病気休暇・休職者の減少」については、メンタルヘルス研修を実施しても病気休暇・休職者が増えているのは、どこがネックなのか。教師が抱え込む悩みの種類が変わってきているということもあるが、メンタルヘルス研修の効果はあるのか。また、引継ぎをスムーズに行うために、産休あけに代替講師と一緒に指導する期間をとるなど、現状の問題点にあわせた施策にしてもらいたい。

→ H20年度はメンタルヘルス研修を4回実施した。研修会に参加して自分自身の精神状態を確認できたということもあるし、研修に管理職が参加することで、職員に対する気配りなど予防的な措置ができるようになっている。